



教育目標

- ・優しい人になろう
- ・正しい人になろう
- ・たくましい人になろう

「新年を迎えて」

副校長 高橋 信也

新年あけましておめでとうございます。冬休みが終わり、学校には再び生徒の皆さんの元気な声が戻ってきました。1月は1年のまとめに向けた大事な時期であり、新たな目標を立てる節目でもあります。これまでの学習や生活を振り返り、自分自身の成長を実感しながら、次のステップへとつなげていってほしいと思います。

2025年の漢字は「熊」でした。熊の出没により全国各地で被害が出ました。被害状況は過去最悪だったそうです。本校もマラソン大会のコースを変更したり、保護者のお迎えをお願いしたりと大きな影響を受けました。今年は熊の被害がなくなることを願わずにいられません。



さて、1年間の出来事を漢字4文字で振り返る、創作四字熟語というものがあります。最優秀作は「古米奮闘」(こまいふんとう)だったそうです。令和の米騒動といわれるほど、おコメの値段が上がリ、国民の関心も高くなった1年でした。古米とは前年度に収穫されたお米のことで、新米が出回るころの11月1日をもって古米に代わるそうです。2025年は、古米だけでなく古古米などの政府備蓄米が放出される事態となりました。コメの生産量が不足している、インバウンドの影響、消費者の需要増などいろいろな理由があるそうです。毎日食べるお米だけに、早く価格が安定してほしいと思います。

さて、創作四字熟語は四字熟語を使った言葉遊びですが、四字熟語の多くは、古代中国の古典に由来しています。例えば、孔子や孟子といった賢人の教え、歴史上の出来事、そして人々の生活の中で生まれた普遍的な知恵が、短い四文字に凝縮されています。「温故知新」のように、過去から学び未来を創造する姿勢を示すものもあれば、「一期一会」のように、出会いの大切さを伝えるものもあります。

さて、そのなかで「因果応報」「因縁果報」のように法則を伝えるものもあります。どちらも因=原因があり、結果に結びつくという四字熟語です。原因=自分・または自分の行動が結果につながるという法則です。因縁果報は、自分が良い人であれば良い縁=友人や条件などが現れる。悪い縁があるときは、自分も悪い状態にある、ということの意味しています。そして結果は自分に返ってきます。ではどうすればよいかは簡単です。自分が良い状態に変わることが、大切ということです。自分が変われば、周りの縁も変わってきます。縁が変われば結果も、報いも変わってきます。

新しい1年が始まりました。今の自分はどうかと振り返ってみてください。良い自分になっているのだろうか、良い行動をしているか。過去のことを変えることはできませんが、これからのことは自分で選択ができます。「一年の計は元旦にあり」です。物事は、何事も最初が肝心です。今年目標をしっかりと立て、行動していきましょう。

◆◆ 1 月予定表(予定は変更になることがあります) ◆◆

1	木	元旦	17	土	
2	金		18	日	
3	土		19	月	生徒朝会
4	日		20	火	避難訓練
5	月		21	水	
6	火		22	木	SC 来校日
7	水	冬季休業日終	23	金	英検 AET 来校日
8	木	始業式 安全指導 SC 来校日	24	土	
9	金	給食始	25	日	
10	土		26	月	都立高校推薦入試(3)
11	日		27	火	都立高校推薦入試(3)
12	月	成人の日	28	水	
13	火	委員会・中央委員会 AET 来校日	29	木	SC 来校日
14	水	移動教室(1)	30	金	AET 来校日
15	木	移動教室(1) SC 来校日	31	土	
16	金	移動教室(1)	* 行事の後の()は学年を示します		

<12月の六中>

六中ゼミ

12月17日に文化学園大学杉並高等学校から、先生と生徒さん12名が来校しました。STEAM プロジェクトという課外団体活動をしている皆さんです。STEAM 教育とは、科学、技術、工学、芸術・リベラルアーツ、数学の5分野を統合的に学ぶ教育です。文化学園大学杉並高等学校では「まだ世の中にない新しい価値のあるものを創り出す」活動をされています。それぞれが色々なテーマに取り組んでいます。海の問題を考える、



林業の活性化を目指す、有機野菜を広める、ファッションから環境問題を考えるなどのプロジェクトの紹介を高校生からしてもらいました。コンテストなどに挑戦している課題もあり、高校生たちの真剣さが伝わってきました。また、オープン・スペース・テクノロジーという活動も行われました。全員が1つの輪になって、中央で自分の考えを自由に発表します。緊張するなか、6中生も

発表しました。その後はテーマごとに3人程度の小グループを組み、考えを深める活動を行いました。グループを変えて、いろいろな人の考えを聞き、さらに考えを深めていきました。現在の状況から、世界とのつながりを認識することができていました。また、自分の考え・感じたことを言語化することができています。現代社会で大切と考えられている力をもっている6中生は、とても素晴らしいと思います。高校生との交流はとても充実していて、見送りの際にはバスが見えなくなるまで、手を振っていました。



生徒会交流会

12月22日生徒会交流会がありました。コロナ流行時にはオンラインで行われましたが、今年からオンラインと対面での意見交流会となりました。「みんなが通いやすい、より良い学校にするために」をテーマに話し合いを進めました。六中生は小グループの司会や、グループの代表として発表を行いました。他校の生徒会役員との交流は、刺激になったでしょう。今後の生徒会活動に、生かしていきましょう。

